

項目	観点	根拠	評価
1. 教育理念・学習目標・教育課程の編成実施			
①教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	具体的かつ明確な形で設定され、自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた目標及び計画の適切な点検が行われているか	教職課程委員会	A
②教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	ICT（情報通信技術）環境（オンライン授業含む）、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか	学内各教室、図書館 電子黒板・タブレット・無線LAN等	B
③教育課程の体系的性	法令及び教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され、適切な役割分担が図られ、学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえた適切な見直しが行われているか	授業科目 各学科教職部会	A
④シラバスの作成・実施・見直し	法令、教職課程コアカリキュラム等への対応が図られたシラバスが作成され、それに基づいた授業の適切な実施・点検が行われているか	シラバス	A
⑤アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	シラバス	B
⑥教職実践演習及び教育実習等の実施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習（学校体験活動含む）は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか	教育実習 教職実践演習 教育実習事前・事後指導	A
⑦授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか	授業アンケート	A
2. 教職指導・学生支援			
①教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供を行った上で、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか	教職オリエンテーション 大学案内パンフレット	A
②学修成果の把握の支援	履修カルテの作成や教育実習報告会を通じて、自身の学修成果を振り返ることができるようにしているか	履修カルテ、教育実習報告会	A
③学生に対する履修指導の実施状況	個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、履修カルテ等を活用しながら、適切な履修指導が行えているか	履修カルテ	A
④学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	manaba folio 学内掲示板	A
3. 関係機関等との連携			
①実習校との連携・交流等の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか	実習運営会議 巡回指導	B
②学校現場での体験活動の機会の提供	学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか	manaba folio 学内掲示板	A
③学外の多様な人材の活用状況	教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか	シラバス 特別講義	A
4. 情報公表			
①情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか	大学HP	A